

子どもの権利と 多文化共生に関する 公開シンポジウム

立教学院
創立150周年
記念

6月8日(土) 13:30~16:30

立教大学池袋キャンパス5号館 5121教室(要申込)

講演内容

第一部 基調講演

- I 豊島区における児童虐待等の現状と課題 ー豊島区児童相談所長 奥田晃久氏
- II 豊島区における多文化共生の現状と課題 ー東京パブリック法律事務所
弁護士 野原郭利氏

第二部 パネルディスカッション

登壇者

- ・豊島区子ども家庭部長 活田啓文氏
- ・豊島区政策経営部多文化共生推進担当課長 澤田健司氏
- ・株式会社良品計画 常勤監査役 鈴木啓氏
- ・NPO法人 Mother's Tree Japan事務局長 坪野谷知美氏
- ・公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン専務理事・事務局長 高井明子氏



司会 山口敬介 (立教大法学部教授)

ファシリテーター 河村賢治 (立教大法学部教授)・島村暁代 (立教大法学部教授)

場所：立教大学池袋キャンパス 5号館 5121教室

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3丁目3-4-1

日時：6月8日(土) 13:30~16:30 (13:00開場)

主催：立教大学法学部

参加無料・要申込：<https://forms.gle/XpHAbbJNEF7y3pr46>

お問い合わせ：150th-symposium@rikkyo.ac.jp

お申込はQRまたは
左記リンクから



2024年度より法学部にて新規開講！

子ども法—理論と実践

授業目標

児童虐待などの事案が存在する現代社会で、法そして私たちは何ができるでしょうか。

授業の前半では、子どもの権利に関連する様々な法や仕事を座学で学びます。後半は、自分が子ども関連の仕事を担当する豊島区職員になったとして、児童虐待等の事案に対応するロールプレイなどを通じて、子どもの権利のために協働することができる人材の育成を目指します。

授業計画（全14回）

座学形式-----

- ①子どもと行政
- ②子どもとNPO
- ③子どもを守る法1（児童福祉法/児童虐待防止法）
- ④子どもを守る法2（刑法）
- ⑤子どもを守る法3（民法・社会保障法）
- ⑥子どもを守る法4（弁護士の仕事）

実習形式-----

- ⑦～⑭ワークショップ&ロールプレイ
成果物作成

多文化共生と法—理論と実践

授業目標

外国人が日本社会において直面しうる法的問題（在留資格、労働、居住、家族関係、社会保障等）について学び、関係する法ルールについて理解を深めることを通じて、現在の法ルールを分析し問題点を考察する力を養います。

さらに、豊島区等において外国人の支援に関わる団体の活動を観察し、問題解決の糸口を模索することを目的としています。

授業計画（全14回）

座学形式-----

- ①外国人と在留資格
- ②外国人と地域
- ③外国人と法律
- ④外国人と医療保健
- ⑤外国人と教育

実習形式-----

- ⑥～⑧ グループワーク、事前調査
- ⑨～⑭ フィールドワーク、成果物作成

基調講演 講師紹介

豊島区児童相談所長 奥田晃久氏

1981年東京都庁に福祉職として入都。児童相談所の一時保護所職員・児童福祉司として8年間勤務。2004年東京都北児童相談所長に着任以降12年間、都内5箇所の児童相談所長を歴任。定年退職後は明星大学教育学部特任教授として保育士養成等に携わる。昨年2月1日(豊島区児童相談所開設)より現職。社会福祉士。組織運営の中では”One for All All for One”を何よりも大切にしている。

東京パブリック法律事務所 弁護士 野原郭利氏

2012年12月弁護士登録。日本司法支援センター（法テラス）の常勤弁護士として、社会福祉法人への出向や法テラス千葉法律事務所での勤務等を経て、2020年11月より弁護士法人東京パブリック法律事務所の外国人・国際部門に所属。国際支援NGOや豊島区民社会福祉協議会と連携し、豊島区及びその近隣で生活する外国籍の方へ包括的に法的支援・生活支援を行う活動等に取り組んでいる。

